

ここに集い、まちを描く

地域の未来拠点へ。



浜通り地域デザインセンターなみえ センター長

羽藤 英二 (東京大学 社会基盤学専攻 教授)

浪江の町を歩くと美しい風景が目に入ります。地域の歴史に関心を寄せ始めつつある新たな活動の息吹と共に子どもたちの声に耳を傾けながら、浜通り地域の未来を考える場をみなさんと一緒につくっていきたくて望んでいます。

浜通り地域 デザインセンターなみえ (通称：はまセン) ってなあに？



住民の皆さんの拠点

住民の皆さんが気軽に立ち寄り、時にコミュニティ活動の場として機能します。皆さんの想いをまちづくりに反映する架け橋になりたいと思っています。

研究の拠点

研究機関が先端技術を持ち寄り、地域に寄り添って調査・研究を行っています。住民の皆さんと共にありたい姿を学び、地域に合った先端技術を暮らしに取り入れます。

情報の拠点

浪江町内外の人にとって「はまセンに来れば地域の情報がわかる！」を目指しています。地域イベントの案内や、地域情報誌などぜひお持ち込みください。



はまセンでできること

勉強・コワーキング

無料 Wi-Fi もあるので、勉強・コワーキングを快適に行うことができます。

本を読む

絵本や小説、漫画、福島県や浪江町に関する本・資料が豊富！ はまセン設立のきっかけをくださった、建築家の磯崎新先生、内藤廣先生の著書もあります。



休憩・待ち合わせ

電車、スマモビ、カーシェア、タクシーなどの待ち合い室としておくつろぎください。

コミュニティ活動

まちづくりに関する開かれた議論や、地域コミュニティ活動の場としてどなたでもお使いいただけます。プロジェクター・ホワイトボード・WEBカメラも備えています。はまセンで素敵な仲間が見つかるかもしれません。



どなたでもお気軽に
お越しください！

はまセンの研究活動

復興まちづくりアンケート

住民の皆さんのこれまでの暮らし・交流についてお聞きし、分析することで、将来の災害復興に生かしたり、浪江町に住みたい・住んで良かったと思えるまちづくりにつなげます。

復興まちづくりインタビュー

震災後から現在までの歩みや浪江町への想いをインタビュー・保存したものを、今後の浪江町や他の地域のまちづくりに役立てていきます。

大学生が考える都市・交通計画

東京大学の学生が浪江町で調査・研究を行い、地域のよりよい生活のための都市・交通計画を提案します。

はまセンのコミュニティ活動

防災地理部

なみえ創成中学校のこどもたちと一緒に、住民の皆さんへのインタビューから浪江町を知る授業を実施。浪江町の魅力を再発見し、地域の過去・現在・未来の姿を考えます。

廃炉ロードマップ説明会

毎月、東京電力が住民の皆さんに向けて廃炉の現状をお伝えしています。浜通り地域に住む人・これから住もうと思う人の不安に向き合います。

シニアに
大好評！

スマホ・タブレット相談窓口

町役場と連携して、スマホやタブレットのあらゆる困りごとの相談に乗り、解決策を提案します。デジタル機器で困ったらはまセンへ！

スマートモビリティを使う

浪江町内の送迎サービス「なみえスマートモビリティ(通称：スマモビ)」のユーザー窓口があります。ユーザー ID の即時発行、アプリの初期設定など利用のためのもろもろをサポート。ユーザー登録なしでもスマモビを利用できる「ミニデジタル停留所」も利用できます。



エネルギーについて学ぶ

カーボンニュートラルなまちづくりに貢献するため、太陽光発電の電力を活用するシステムの実証実験を行っています。先端技術を身近に感じてもらい、地域に最適なエネルギーのありかたを学ぶことができます。

電気自動車の充電

再生可能エネルギー100%で電気自動車の充電が可能です。

はまセンのここがすごい！



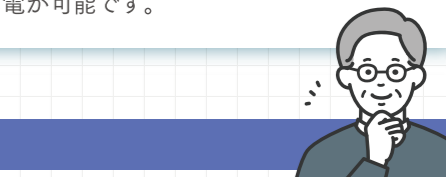
カーシェアのステーションもあります

日産の電気自動車のカーシェアリング、e-シェアモビが設置してあります。



地球にやさしい設備

はまセンは再生可能エネルギー100%の電気を活用しています。また、電気自動車から電気を取り出す設備(V2H)もあり、停電時に電気自動車に貯めた電気を使うことができます。



こだわりのインテリア

浪江町はかつて全国有数の林業、製材業が盛んな町でした。かつての浪江町を感じてもらえるよう、震災前に採って保存していた杉材を用いて机、本棚などのインテリアを製作しました。